

無線 LAN 編

無線 LAN の設定	1
無線 LAN 基本設定	3
暗号化を WEP に設定するとき	12
暗号化を WPA-PSK に設定するとき	14
暗号化を 802.1X に設定するとき	15
暗号化を WPA に設定するとき	16

無線LAN設定

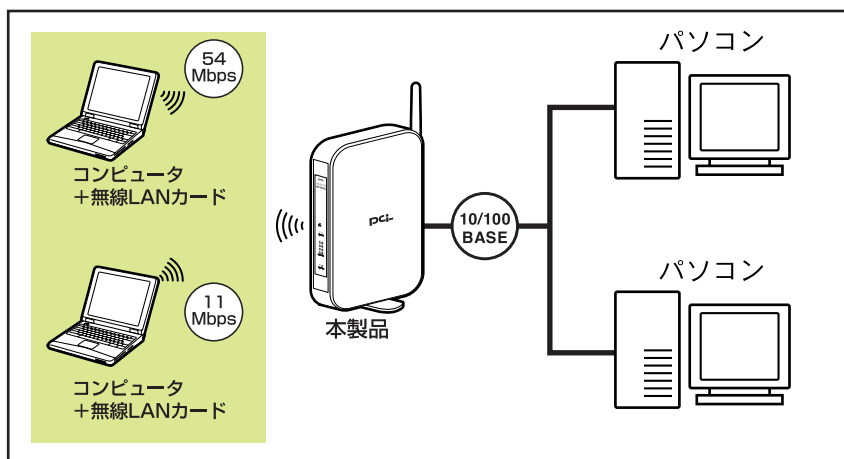
ここでは、本製品を利用して802.11gの無線LANを構築する例を紹介します。

無線LANの設定

ここでは、本製品を利用した802.11gの無線LANを構築する例を紹介します。

本製品は802.11g規格に準拠した無線LANを有しています。802.11gは従来の802.11bと同じ2.4GHzを利用しながら、最大54Mbの高速な無線LAN環境を構築することが可能です。また、普及率No.1の802.11bとの通信も行えるため、既存の無線LAN資産を有効に活用することができます。

●BRCシリーズを利用した無線LANの例



無線LAN接続時は、必ず暗号化を設定してください。
暗号化を無効にすると無線LAN通信を傍受、不正利用される可能性があります。
お客様の利益を守るためにも、暗号化は必ず設定してください。

本製品の無線機能は、下記の暗号化に対応しています。

- 1.WEP
- 2.WPA-PSK
- 3.802.1X – WEP
- 4.WPA

無線 LAN 基本設定

無線 LAN 接続をするときは、下記設定を入力する必要があります。初期値を変更してご利用になるときは、設定内容をあらかじめメモしておくことをお勧めします。

初期値を変更せずにご利用になるときは、空白でかまいません。

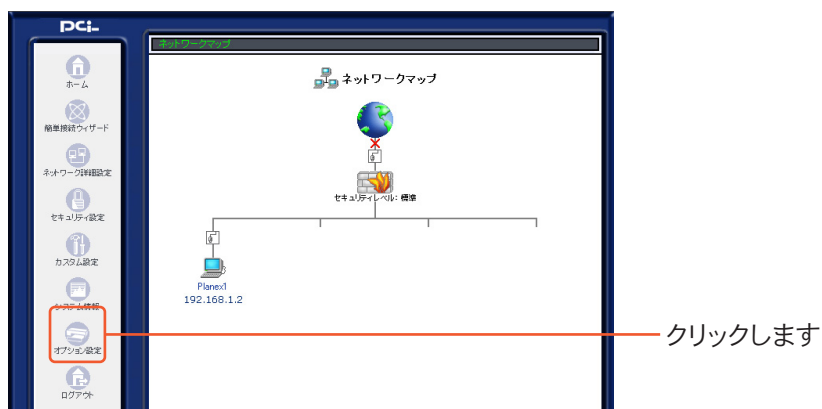
	名称	お客様記入欄	本製品の初期値
(イ)	SSID		BRCW14VG
(ロ)	チャンネル		自動
(ハ)	認証モード		オープンシステム
(ニ)	暗号化方式		WEP
(ホ)	暗号化キー		1223334444

■ 無線 LAN 設定手順

上記の表を使って設定をします。

※以下の手順は、例です。設定内容によっては異なる場合があります

1. 本製品にコンピュータを LAN ケーブルで接続し、設定画面を開きます。
2. サイドバーから「オプション設定」をクリックします。



▼「オプション設定」が表示されます。

3. 「ワイヤレス設定」をクリックします。



▼「ワイヤレス設定」の「基本設定」が表示されます。

4. 基本情報を入力します。

- 「SSID」に(イ)と同じものを入力します。
- 「チャンネル」に(ロ)と同じものを選びます。
- [OK]をクリックします。

The screenshot shows the 'ワイヤレス設定' (Wireless Settings) page. The '基本設定' (Basic Settings) section is active. The 'SSID' field contains 'BRCW14VG', and the 'チャンネル' (Channel) dropdown is set to '自動'. The 'OK' button is highlighted with a red box. Red arrows point from the text '入力します' (input) to the SSID field, '選びます' (select) to the channel dropdown, and 'クリックします' (click) to the OK button.

ワイヤレス設定

基本設定 詳細設定

基本設定

BSSID(ワイヤレスMACアドレス):

SSID: BRCW14VG

チャンネル: 自動

送信速度: 自動

送信出力: 100 %

Super G を有効にする

eXtended Range(XR) を有効にする

セキュリティ

ANY拒否/SSIDを隠す

無線クライアント間の通信を遮断する

MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリングが有効

WDS設定

動作モード: アクセスポイント

OK キャンセル

入力します

選びます

クリックします

▼ 「オプション設定」に戻ります。

5. セキュリティ情報を入力します。

「詳細設定」をクリックします。

「認証方式」で(ハ)と同じものを選びます。

「暗号化方式」で(ニ)と同じものを選びます。

「暗号キー」に(ホ)と同じものを入力します。

[OK]をクリックします。

注意

暗号化は、必ず設定してください。暗号化を無効にすると無線LAN通信を傍受、不正利用される可能性があります。お客様の利益を守るためにも、暗号化は必ず設定してください。暗号化の詳細は、それぞれの暗号化のページを参照してください。



▼ オプション設定が表示されます。

以上で、本製品側の設定は、完了です。

端末コンピュータ側に無線LANアダプタを取り付け、設定をおこないます。無線LANアダプタ側にも、2ページの表の「お客様記入欄」にメモした内容と同じ設定をします。本製品の設定を変更していないときは、「本製品の初期値」と同じ設定をします。

※アダプタの設定方法は、ご利用のアダプタの取扱説明書を参照してください。

ワイヤレス設定

基本設定

詳細設定

基本設定

BSSID(ワイヤレスMACアドレス) :	<input type="text" value="::: : : :"/>
SSID :	<input type="text" value="BRCW14VG"/>
チャンネル:	<input type="text" value="自動"/>
送信速度:	<input type="text" value="自動"/>
送信出力:	<input type="text" value="100 %"/>
Super G を有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
eXtended Range(XR) を有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>

セキュリティ

ANY拒否/SSIDを隠す	<input type="checkbox"/>
無線クライアント間の通信を遮断する	<input type="checkbox"/>

MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリング有効	<input type="checkbox"/>
------------------	--------------------------

WDS設定

動作モード:	<input type="text" value="アクセスポイント"/>
--------	---------------------------------------

OK

X キャンセル

名称	説明	初期値
BSSID (ワイヤレスMACアドレス)	無線LANのMACアドレスが表示されます。 変更はできません。	—
SSID	無線LANに接続する機器のアクセスを制御する識別名です。SSIDを設定すると、同じSSIDを設定したクライアントのみ接続できます。半角英数字で32文字まで設定できます。	BRCW14VG
チャンネル	無線LANで使用するチャンネルを1～13の中から選びます。チャンネルは隣接するアクセスポイントと重ならないチャンネルを選びます。	自動
送信速度	本製品の送信速度を設定します。 ○自動 送信速度を自動に設定します。自動で設定すると電波状況に応じて、常に最適な通信速度に設定されます。 ○11/5.5/2/1Mbps 送信速度を指定した値に設定します。802.11bモードのとき設定できます。 ○54/48/36/24/18/12/9/6Mbps 送信速度を指定した値に設定します。802.11gモードのとき設定できます。	自動
送信出力	100/50/25/12.5%から選びます。 無線LAN接続の範囲をコントロールします。これによって、近接するアクセスポイントの干渉を回避できます。	100%
Super G ^{**} を有効にする	チェックをオンにすると、Super Gモードを搭載した無線機器と通信したときに、バースト転送及びデータ圧縮を行います。これによって、無線LANの接続速度を向上させます。	無効
eXtended Range(XR) ^{**2} を有効にする	チェックをオンにすると送信出力範囲を拡張します。その反面通信速度を低下させます。そのため、通常は無効でご利用することをお勧めします。	無効

■ セキュリティ

名称	説明	初期値
ANY拒否/SSIDを隠す	チェックをオンにすると、SSIDをANYに設定したクライアントからの通信を拒否することができます。 また他の無線機器からのアクセスポイント検索やゼロ・コンフィグレーション機能によるSSIDを表示しません。これにより、第三者からの不正アクセスを防止します。	無効
無線クライアント間の通信を遮断する	チェックをオンにすると、無線LAN接続されたネットワーク内のクライアントコンピュータ同士での通信を遮断します。	無効

※1 Super Gは米Atheros社の独自無線LAN高速化技術です。Super Gを使用するには接続先の無線LAN機器も、Super Gに対応している必要があります。

※2 米Atheros Communications社の独自無線LAN長距離化技術です。

■ MACアドレスフィルタリング

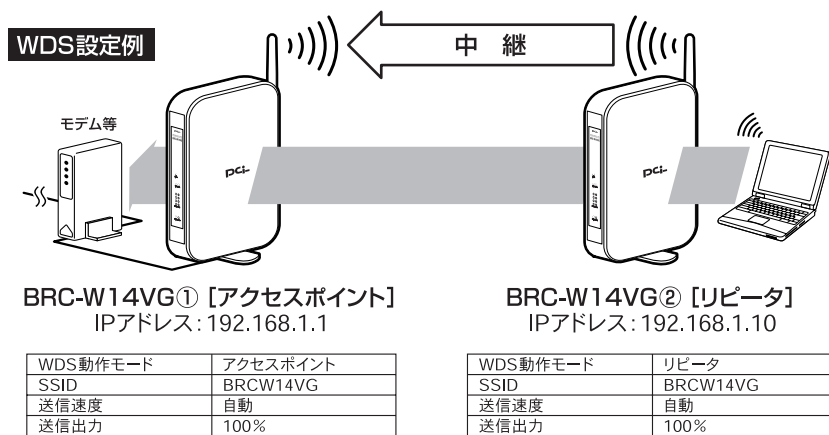
名称	説明	初期値
MACアドレス フィルタリング有効	チェックをオンにすると、「フィルタリング動作」、 「MACアドレス」の入力ボックスが表示され ます。	無効
フィルタリング動作	「許可」または「拒否」から選びます。 ○許可 許可を選ぶと登録したMACアドレスの機 器のみがアクセス可能になります。 ○拒否 拒否を選ぶと登録したMACアドレス機器 からはアクセスできません。MACアドレス を登録することで特定の機器のみからの アクセスを排除します。	—
MACアドレス	「許可」または「拒否」する機器のMACアドレ スを登録します。	—
追加	[追加]ボタンをクリックすると、MACアドレス を登録し、下部の「フィルタリスト」に表示し ます。	—
削除	[削除]ボタンをクリックすると、登録されてい るMACアドレスを削除し、「フィルタリスト」 から削除します。	—
フィルタリスト	フィルタリングするMACアドレスが登録され ているとき、一覧表示します。	—

■ WDS設定

無線 LAN 接続のクライアントが障害物などにより近くのアクセスポイントと直接通信できないとき、障害物のないアクセスポイントを経由して接続することができます。この中継器としての使用する機能をリピータといいます。

WDS設定	
動作モード:	アクセスポイント ▼

名称	説明	初期値						
動作モード	<p>「アクセスポイント」または「リピータ」を選択します。</p> <p>○アクセスポイント 本製品を通常のアクセスポイントに設定します。</p> <p>○リピータ 本製品をアクセスポイントへのリピータ(中継器)に設定します。</p> <p>この機能を利用するときは、下記の設定をします。</p> <table border="1"> <tr> <td>SSID</td> <td>アクセスポイント側とリピータ側に同じSSIDを入力する。</td> </tr> <tr> <td>送信速度</td> <td>自動</td> </tr> <tr> <td>送信出力</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>※本製品のWDSモードを使用するには、BRC-W14VG</p>	SSID	アクセスポイント側とリピータ側に同じSSIDを入力する。	送信速度	自動	送信出力	100%	アクセスポイント
SSID	アクセスポイント側とリピータ側に同じSSIDを入力する。							
送信速度	自動							
送信出力	100%							



暗号化をWEPに設定するとき

1. 「認証方式」で「オープンシステム」を選びます。
2. 「暗号化方式」で「WEP」を選びます。
3. 「暗号キー」の「キー1」に設定する暗号キーを入力し、「デフォルトキー」を「1」に設定します。
4. [OK] をクリックします。



ワイヤレス設定

基本設定 詳細設定

セキュリティ設定

認証方式: オープンシステム

暗号化方式: WEP

暗号キー

キー 1:

キー 2:

キー 3:

キー 4:

デフォルトキー: 1

OK キャンセル

注意

暗号化方式で、「無効」を選択すると、暗号化が設定されません。
お客様の利益を守るためにも、必ず暗号化を設定してください。

項目名	説明	初期値
キー1～4	<p>キーを入力します。</p> <p>入力可能な文字と文字数は下記のいずれかの構成で入力してください。</p> <p>○アスキー（文字列）</p> <p>入力可能文字……半角英数字</p> <p>入力可能文字数…64bit／5文字 128bit／13文字 152bit／16文字</p> <p>○16進数</p> <p>入力可能文字……0～9、a～f、A～F</p> <p>入力可能文字数…64bit／10桁 128bit／26桁 152bit／32桁</p>	1223334444
デフォルトキー	<p>1～4から選びます。</p> <p>上記「キー1」から「キー4」のうち、ここで選択したキーが有効になります。</p>	1

暗号化を WPA-PSK に設定するとき

1. 「認証方式」で「WPA-PSK」を選びます。
2. 「暗号化方式」で「TKIP」、「AES」のいずれかを選びます。
3. 「プレシェアードキー」に任意のキーを入力します。
4. 必要に応じて、「更新間隔」を設定します。
5. [OK] をクリックします。

項目名	説明	初期値
暗号化方式	「TKIP」、または「AES」から選びます。	TKIP
プレシェアードキー	プレシェアードキー(事前共有キー)を設定します。このキーによって認証します。 ○入力可能文字数 アスキー(文字列)……………8～63 16進数……………64(最大)	passphrase
更新間隔	キー更新の間隔を設定します。単位は秒です。	0

暗号化を802.1Xに設定するとき

1. 「認証方式」で「802.1x」を選びます。暗号化方式は、自動的に「WEP」が設定されます。
2. 必要に応じて、「更新間隔」を設定します。
3. 「RADIUSサーバIPアドレス」を入力します。
4. 「RADIUSサーバポート」を入力します。
5. 「共有パスワード」を入力します。
6. [OK] をクリックします。

The screenshot shows the 'ワイヤレス設定' (Wireless Settings) menu. It has two tabs: '基本設定' (Basic Settings) and '詳細設定' (Advanced Settings). Under 'セキュリティ設定' (Security Settings), '認証方式' (Authentication Method) is set to '802.1x' and '暗号化方式' (Encryption Method) is 'WEP'. Under '802.1x WEP設定' (802.1x WEP Settings), '更新間隔' (Update Interval) is set to '0' seconds. Under 'RADIUS設定' (RADIUS Settings), there are four IP address fields, a 'RADIUSサーバポート' (RADIUS Server Port) field set to '1812', and a '共有パスワード' (Shared Password) field with masked characters. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

項目名	説明	初期値
更新間隔	RADIUSサーバとのパスワードの認証間隔を設定します。単位は秒です。	0
RADIUSサーバIPアドレス	RADIUSサーバのIPアドレスを設定します。*	—
RADIUSサーバポート	RADIUSサーバが使うポート番号を設定します。	1812
共有パスワード	共有キーを設定します。	—

※ 本製品は、RADIUSサーバ機能は搭載していません。この機能をご利用になるときは、別途ご用意ください。

注意

暗号化方式で、「無効」を選択すると、暗号化が設定されません。お客様の利益を守るためにも、必ず暗号化を設定してください。

暗号化をWPAに設定するとき

1. 「認証方式」で「WPA」を選びます。
2. 「暗号化方式」で、「TKIP」または「AES」が設定されます。
3. 必要に応じて、「更新間隔」を設定します。
4. 「RADIUSサーバIPアドレス」を入力します。
5. 「RADIUSサーバポート」を入力します。
6. 「共有パスワード」を入力します。
7. [OK] をクリックします。

ワイヤレス設定

基本設定 詳細設定

セキュリティ設定

認証方式: WPA

暗号化方式: TKIP

WPA設定

更新間隔: 0 (0または、30-1800秒)

RADIUS設定

RADIUSサーバIPアドレス: [] [] [] []

RADIUSサーバポート: 1812

共有パスワード: [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

OK キャンセル

項目名	説明	初期値
更新間隔	RADIUSサーバとのパスワードの認証間隔を設定します。単位は秒です。	0
RADIUSサーバIPアドレス	RADIUSサーバのIPアドレスを設定します。	—
RADIUSサーバポート	RADIUSサーバが使うポート暗号を設定します。	1812
共有パスワード	共有キーを設定します。	—